

地域おこし協力隊 活動記 Vol.87



5月1日、桜田宏市長より辞令を拝受しました
(左から2人目が穂坂、3人目が加賀)

はじめまして。穂坂修基（ほさかもとき）と申します。神奈川県横浜出身の25歳です。水木在家に住んでいます。前職は小学校教師で、高学年を担当していました。社会科が専門です。中学校（社会）、高等学校（公民、地理歴史）の教員免許も持っています。趣味は、海外旅行です。着任前の休暇で、ネパール、インド、バングラデシュに行ってきました。ガンジス川で沐浴したので、心がきれいな状態で相

馬にやってきました（ヒンドゥー教徒は、ガンジス川の水が全ての罪を洗い流すと信じているため）。

他にも、登山やランニングなどの運動が好きです。沢田と藍内を勝手にランニングコースにしています。やる気と体力に自信があるので、様々な行事や仕事、ボランティアに声を掛けていただきたいと思います。

相馬の魅力を発信していくとともに、相馬がさらに住みよく魅力あふれるよう努めてまいります。どうぞ、よろしく願います。

◆ ◆ ◆
相馬の皆さん、はじめまして。5月1日から正式に地域おこし協力隊に着任した加賀新一郎と申します。



「ぶどうも好きだけど、一番好きなのはりんご！」（穂坂）



2月の「沢田ろうそくまつり」では少しですが参道づくりを手伝わせていただきました（加賀）

東京生まれの東京育ちで、一昨年末で某出版社で編集の仕事をしていました。最後はなぜか、外見もキャリアもそぐわない女性ファッション誌の編集部に回されましたが（たぶん肩たたき）、長らく歴史やスポーツ関係の雑誌・書籍を担当していました。相馬には、「沢田ろうそくまつり」をはじめ未来に受け継ぐべき歴史的な伝統文化があります。そうした伝統や文化を新しい時代にも持続的に受け継いでいけるよう、これまでの経験を生かしつつ、取り組んでいきたいと思っています。59歳と少々歳をくつていますが、若い穂坂隊員と協力しあいながら、子どもから高齢者の皆さんまで相馬のすべての皆さんが元気に毎日を送れるようがんばります。

